

第 1 2 回湘南テコンドー選手権大会 要項

【 1 】 名 称

第 1 2 回湘南テコンドー選手権大会

【 2 】 主 催 ・ 幹 事

主 催 神奈川県テコンドー連盟

幹 事 湘南平塚テコンドークラブ

【 3 】 後 援

日 本 テ コ ン ド ー 協 会

【 4 】 目 的

- 1) ルールを尊ぶ J T A テコンドーの試合を通じて健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) J T A テコンドー愛好家の親睦を目的とする。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンドーを通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 2 0 2 6 年 1 1 月 2 8 日 (土) 1 0 : 0 0 横浜武道館開催
第 3 7 回全日本テコンドー大会同等記録会個人戦及び団体型選抜チーム 最終選考会

【 5 】 開 催 日 時

2 0 2 6 年 1 0 月 1 1 日 (日)

当日日程 1 1 時 0 0 分 開場・設営
1 1 時 0 5 分 第 1 5 7 回秋季昇段昇級審査会・平塚会場
1 1 時 0 5 分 選手 (審査非受験者) 集合・受付・計量
1 2 時 0 0 分 開会式開始
*昼食時間は、施設利用時間が短いためとれません。
1 4 時 0 0 分 閉会式・表彰式
1 5 時 0 0 分 退去

【 6 】 開 催 場 所

平塚総合体育館 柔道場

神奈川県平塚市大原 1 - 1 (体育館地下 1 階)
J R 「平塚駅」徒歩 2 5 分。
神奈中バス 4 番「総合公園」または 7 番「総合公園西」下車
無料駐車場有り (ただし、すぐ満車になる。開会式 1 時間以上前に入場要)

【 7 】 参 加 資 格

- 1) J T A 有級者 (黄帯・7 級以上)、有段者。
- 2) 健康 (持病を隠していた場合、重大な事故につながり、かつ保険もおりない) であり、かつスポーツ安全保険 (同上) に加入している者。
- 3) 一部蹴武型 A 級及び一部組手への参加は有段者に限る。
- 4) 一部蹴武型 B 級及び一部少年少女部は、1 級～有段者。年齢制限なし。
- 5) 二部組手は、
イ) J T A の 1 級・茶帯～有段者
ロ) 過去、1 年以内の J T A 公式戦で入賞経験を有する 4 級の有級者。

- 6) 少年少女部組手および型試合は、黄帯～茶帯。黒帯は一部少年部へ出場すること。
少年少女部は、事故及び怪我防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、胴防具、ファールカップ（男子のみ）を着用しなければならない。
- 7) 二部蹴武型は、有級者。制限なし。少年少女部選手も出場できる。
- 8) 三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。中学生の有段者は挑戦できる。
- 9) 三部蹴武型は、優勝経験のない有級者に限る。

1 O) 団体型

①3名で1チームとする。

②自由型1つで勝敗を決するものとする。

ただし、2026年11月の全日本FT大会同等記録会・団体戦型においては、自由型2つを演武できるチームでなければならない。

【8】試合種目・表彰

注意 1 組手および型試合はいずれもエントリー選手が

①6名以下の場合、最も近い級と統合する場合がある。

①7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない場合がある。

注意 2 稀に対戦相手の棄権により一勝もせず不戦勝で決勝戦に進出する場合がある。

その場合、決勝戦で勝利できなければ、メダルの授与はせず表彰状のみ授与する。

エントリー選手が何らかの事情で棄権し、1名しか出場しなかった場合も上記と同様とする。

一 組手

注意 全種目・全階級いずれも、ワンマッチで成立しない場合、統合する。

1 一部フルコンタクト・テコンドー組手試合

- ①男子一部軽量級組手(63kg未満) ～ 優勝：メダル、賞状、準優勝～三位：メダルと賞状
- ②男子一部中量級組手(73kg未満級) ～ 同上
- ③男子一部重量級組手(73kg以上) ～ 同上
- ④女子一部無差別級組手 ～ 同上
- ⑤中学生一部軽量級(ライトコンタクト) ～ 同上
- ⑥中学生一部無差別級(同上) ～ 同上
- ⑦小学生一部無差別級(同上) ～ 同上

2 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- ①二部軽量級(63kg未満) ～ 優勝、準優勝、3位(1名)：メダルと賞状
- ②二部中量級(73kg未満級) ～ 同上
- ③二部重量級(73kg以上) ～ 同上
- ④二部女子無差別級 ～ 同上

3 三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- ①軽量級(63kg未満) ～ 優勝、準優勝、3位(1名)：メダルと賞状
- ②中量級(73kg未満級) ～ 同上
- ③重量級(73kg以上) ～ 同上
- ④女子無差別級(胴防具着用) ～ 同上

4 四部 J T A 少年部特別ルール組手

- ①少年部丙(小学校1～2年生) ～ 優勝～3位：メダルと賞状
- ②少女部丙(小学校1～2年生) ～ 同上
- ③少年部乙(小学校3～4年生) ～ 同上
- ④少女部乙(小学校3～4年生) ～ 同上

- ⑤少年部甲（小学校 5 ～ 6 年生） ～ 同上
- ⑥少女部甲（小学校 5 ～ 6 年生） ～ 同上
- ⑦中学生男子軽量級（50kg 未満） ～ 同上
- ⑧中学生男子中量級（50kg 以上） ～ 同上

注意 1 少年少女部は、事故防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、J T A 公認胴防具、ファールカップ（男子のみ）を着用しなければならない。

注意 2 エントリー人数に応じて統合する場合があります、保護者は主催者に一任することを予め同意して下さい

- ①少年部・少女部組手の 1 回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。ルールは一本勝ちを禁止しているライトコンタクト・テコンドー・ルールであり、遠心力がかかり最も危険な上段回し蹴りを禁止しているため、選手双方が定まれたルールを守っていれば事故が起こらないと考えます。
- ②義務教育課程の子供は成長段階に差異があり、年齢が同じであっても身長・体重に差異があります。また、身体の成長が著しい子供は、1 学年上の子供より大きい場合も珍しくありません。つまり子供の場合、学年や年齢で格闘技の試合の階級を区切るのは、身体的に難しいといえます。しかし、手技のボクシングのように体重のみで区切るのも問題があります。なぜなら、テコンドーは蹴りの勝負であるため、身長差＝足の長さが勝敗を左右するからです。そのため学年という大まかな基準で募集し、申請書記入の体重と身長、戦歴による実力を考慮し、対戦表を作成します。たとえば（過去の事例）、少女部丙にエントリーした小 2 女子（体重 23kg）が 1 名、少女部乙にエントリーした小 3 女子（体重 25kg）が 1 名の場合、「小学生低学年女子」として統合しワンマッチを行いました。あるいは、身長が低く体重が軽くとも、過去の試合において入賞している場合、大きな相手であっても、実力があるので、充分、戦えると判断した場合は対戦させることがあります。

注意 3 男・女中学生は一般の部に参加できます。
ただし、自己責任とします。保護者の許可が必要です。

二、蹴武型試合（全種目男女混合）

- 1、一部蹴武の型 A 級 ～ 優勝、準優勝、3 位：メダルと賞状
- 2、一部蹴武の型 B 級 ～ 優勝、準優勝、3 位：メダルと賞状
- 3、二部蹴武の型試合（制限無し。中学生以下の有段者は参加できる） ～ 同上
- 4、三部蹴武の型試合（有級者。優勝経験のない者に限る） ～ 同上
- 6、少年少女部蹴武の型試合（有級者）
 - ①小学生有級者（未就学者可） ～ 優勝、準優勝、3 位：メダルと賞状
 - ②中学生有級者 ～ 同上
- 7、団体戦型試合 ～ 同上

【 9 】 試合ルール等

注意 1 計量は 1 回のみとする。パスしない場合は失格とし参加費は返金しない。
自己流の減量は極めて危険である。無理な減量は禁止。死亡事故がおこる。

注意 2 すべての種目は、一定数のエントリーに達しない場合、統合する。
参加者（未成年者の場合は保護者）は、上記を予め同意しなければ試合にエントリーすること は

できない。

中学生型と小学生高学年型、または小学生高学年型と小学生低学年型を統合する場合もある。

一、組手試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

①一部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美7WILLルール）

②二部、三部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール

③JTAライトコンタクトテコンドー・ルールに基づく「新少年少女部特別ルール」

2、試合時間、判定基準等

1) 試合時間

①一部・二部・三部 本戦2分 1R

延長戦2分（1R迄）。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

②中学生 本戦1分30秒 1R。

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

③少年少女部 本戦1分 1R。

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 敵点2、又は注意6で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

5) 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点1とする。

2、その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。
ただし、予選会における蹴美審判は1名とする。

二、蹴武の型・試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

①一部A級 JTA A級蹴武型ルール

②一部B級 JTA B級蹴武型ルール

③その他

J T A C 級蹴武型ルール

④団体戦型

全日本FT大会に準じる

【 1 0 】 大会出場締め切りと申込手続き

締切り 2 0 2 6 年 1 0 月 3 日 (必 着)、

参加費用 組手試合のみ ￥ 4 4 0 0

蹴武の型試合のみ ￥ 4 4 0 0

組手 & 蹴武の型 2 種目 ￥ 6 6 0 0

組手 & 蹴武の型個人 & 団体戦 3 種目 ￥ 8 8 0 0

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1 回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

1 、 参加費振込先

〔 口座番号 〕 0 0 2 8 0 - 2 - 4 0 2 6 7

〔 名 義 〕 神奈川県テコンドー連盟

2 、 申込書送付先

〒 2 3 0 - 0 0 5 2

横浜市鶴見区生麦 3 - 7 - 5

趙 哲来殿

【 1 1 】 大会役員

大会会長 河 明生（県連会長）

実行委員長 趙 哲来

審判 吉川 真、佐藤賢治、小川浩平他 司会 和田哲平

賞状・吉川めぐみ 総務・鈴木祐司 救護・西谷信一郎 他

【 1 2 】 注意事項

- ・ 試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ・ 電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。

- ・所属クラブ長に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ・理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ・試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。

・選手は、各種保険証の現物を持参して下さい。

- 骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることになりますので、各クラブは病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、
- ・体育館・武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。
各クラブは「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また武道館・体育館内は禁煙です。
- ・ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。
体育館・武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

- ・契約している保険会社に問い合わせたところ

組手試合中の打撃の伴わない死亡事故・後遺障害・怪我等は保険が適用されません。

例１）要項には「健康であること」が参加絶対条件であるが、本人が持病を隠して参加し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合

例２）極度の緊張で打撃を伴わず転倒し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合

命ほど大切なものではありません。組手試合参加絶対条件である健康か否かは日常の練習中、判明しているはずなので当該責任者は参加させないように指導して下さい。

例３）試合の打撃等によらない心臓・肺等の異常。たとえば、過呼吸症候群、心不全。

【 １ ３ 】 観 覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。ただし、大会関係者の指示に従ってください。

ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。

体育館・武道館の定める飲食禁止場所での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

【 １ ４ 】 J T A 試 合 法 一 自 然 災 害 ・ 台 風 等 に 伴 う 体 育 館 ・ 武 道 館 の 使 用 禁 止 の 場 合 の 処 置

自然災害で体育館・武道館の中止勧告が出た場合、参加費は返金できないという内容。
詳細は J T A 本部 H P を参照して下さい。

第 1 2 回 湘 南 テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 参 加 申 込 書 大会会長 河 明 生 殿

私は、下記の事項を誓約します。

- 一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。
- 三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、
本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓います。
- 五、私は、自己の所属するクラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しております。
- 六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険と契約）
死亡 1 千万、後遺障害（失明など）1 千万、入院 1 日 6 千円、通院 1 日 4 千円
- 七、J T A 試 合 法 一 自 然 災 害 ・ 台 風 等 に 伴 う 体 育 館 ・ 武 道 館 の 使 用 禁 止 の 場 合 の 処 置 も 同 意 し ま す 。
- 八、私は組手試合参加絶対条件の健康な体であることに虚偽はありません。万一、打撃の伴わない死亡事故・重度後遺障害・大怪我等により保険金が支払われなかったとしても大会主催者に対し民事上の異議を申し立てません。上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。
上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所
(ふりがな)
氏名

印

保護者 住所

氏名

印 * 1 8 歳未満、高校生以下必要

* 記入漏れがある場合、失格となります。

所属クラブ名

参加費振込証明添付

指導者サイン

現級・段

年齢

歳

身長

C m

体重

K g

* のり付けして下さい

過去（1 年以内）の大会成績

1

2

出場種目（複数種目出場者は、1 枚の申請書で種目すべてに○をしてください）

一部組手→①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子 ⑤中学生軽量級 ⑥中学生無差別級 ⑦小学生

二・三部組手→①二部軽量級 ②二部中量級 ③二部重量級 ④二部女子 ⑤三部女子
⑥三部軽量級 ⑦三部中量級 ⑧三部重量級

少年少女組手→①少年1～2年 ②少女1～2年 ③少年3～4年 ④少女3～4年 ⑤少年5～6年
⑥少女5～6年 ⑦中学生男子軽量級 ⑧中学生男子無差別級

蹴武型→ ①一部A級 ②一部B級 ③二部 ④三部
⑤中学生有級者 ⑥小学生有級者（未就学含む）
⑦団体型（団体名・）